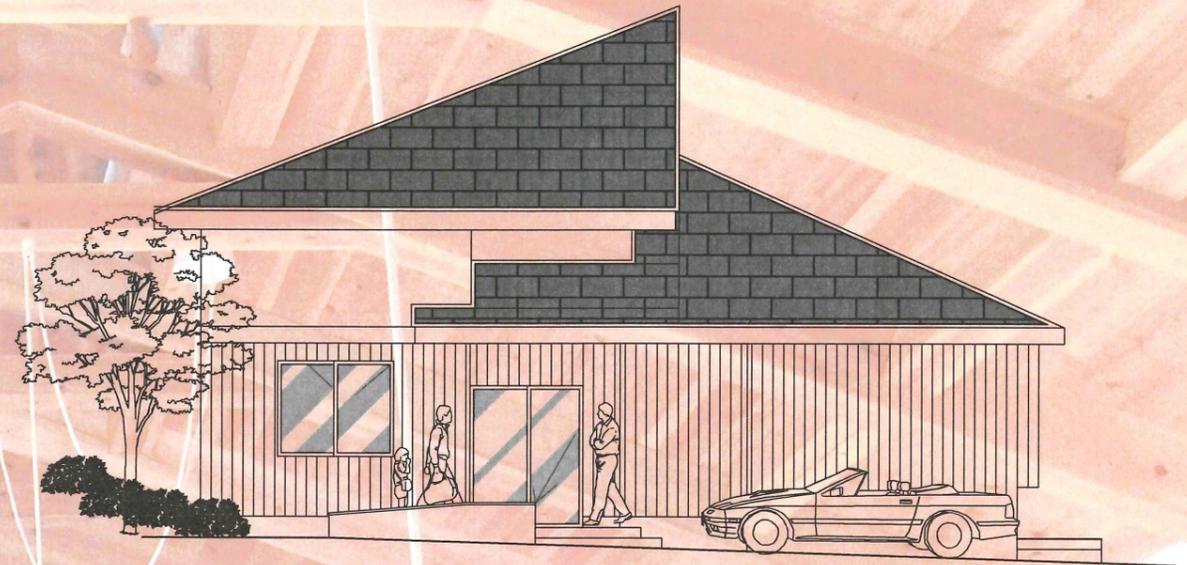
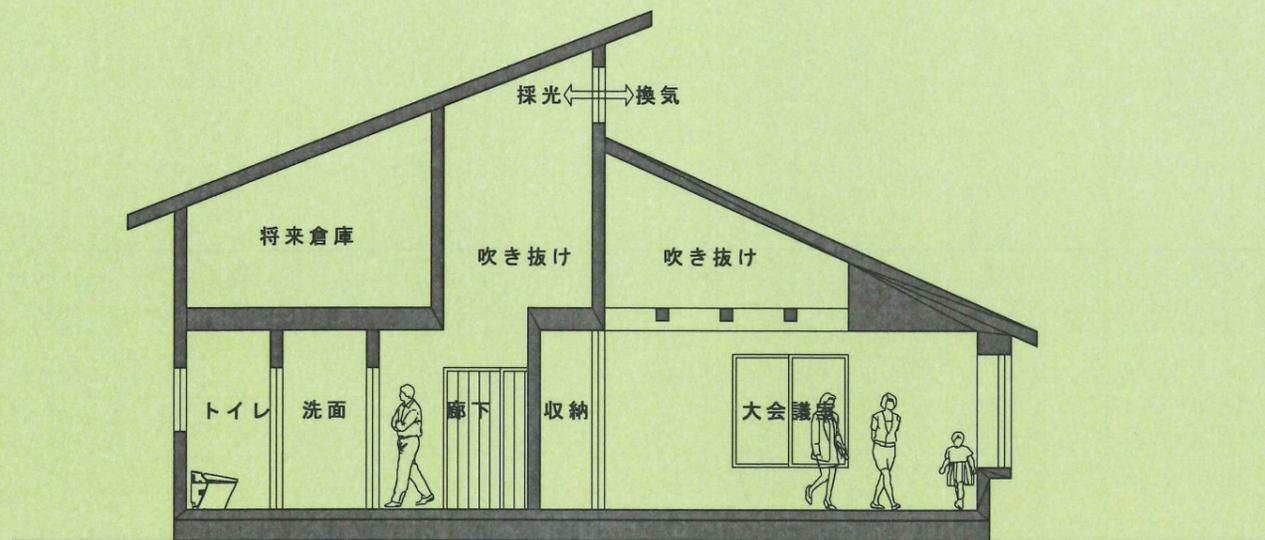


南立面図



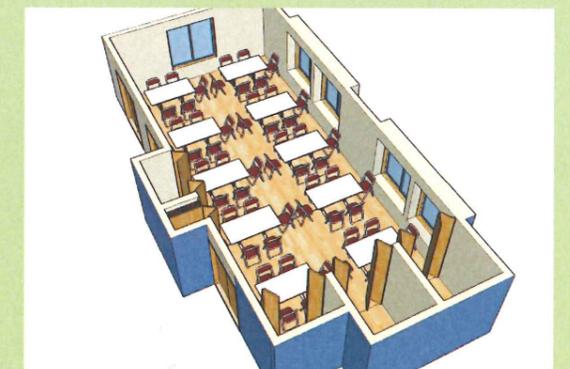
西立面図



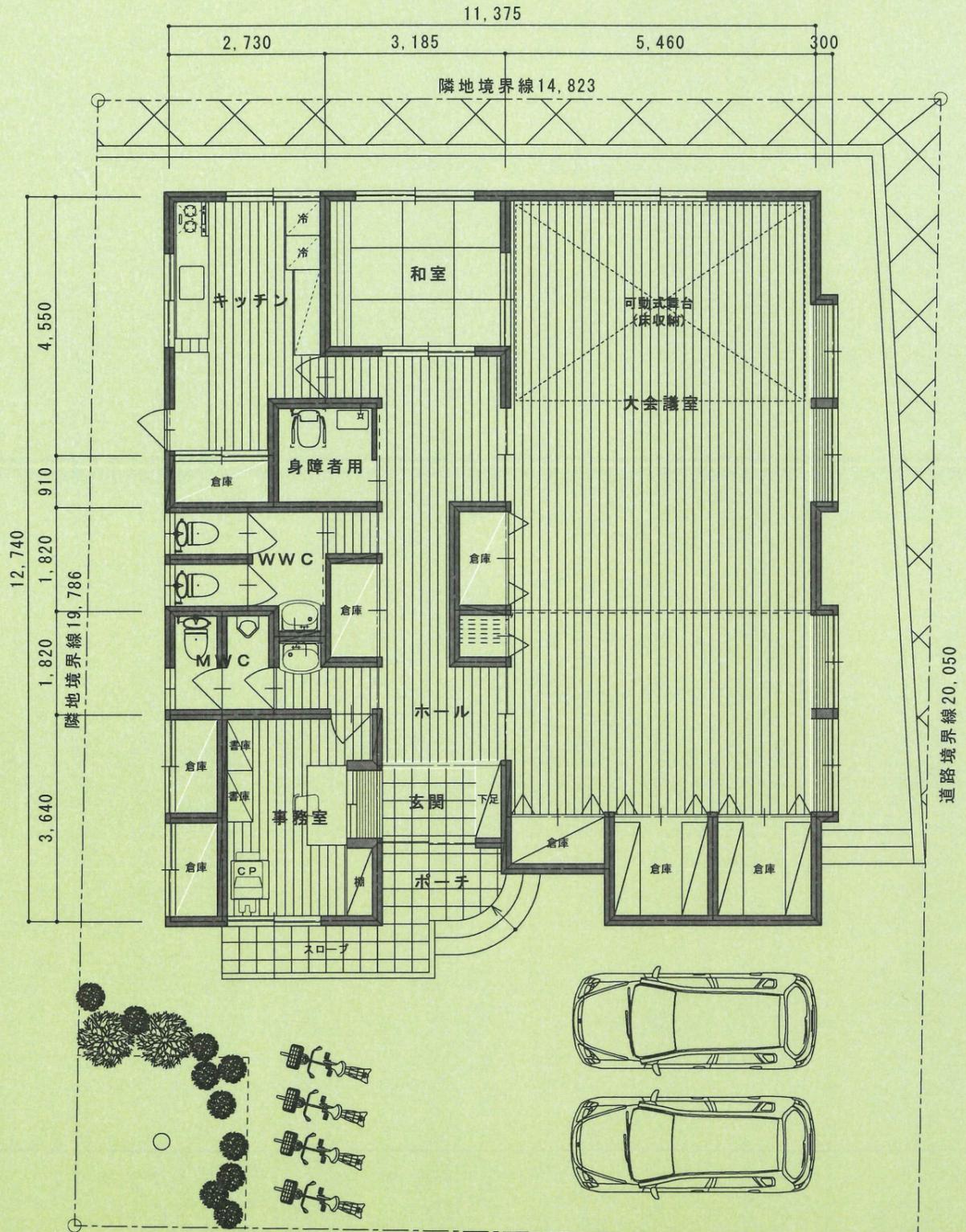
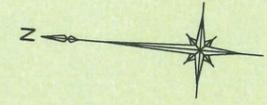
断面図



大会議室分割利用



大会議室通常利用



設計主旨

海老名市中央東部に位置し、座間丘陵南部で、造成された宅地には、高低差があります。高齢化率が高くなっています。異常気象、大地震への不安も増大しつつある今、会館の役割は、多岐になっています。隣接する広大な公園があり、住民が憩える場として、恵まれた立地条件となっています。

なかでも、防災対策は、住民による共助が重要です。地域の防災拠点となる会館は、高齢者にも子どもにも、優しい建物を目指します。建物安全性を優先し、内部床には、段差がなく、維持メンテナンスからもシンプルな切妻屋根としました。災害に強く、情報発信収集の場、安心感、癒される場、気軽に行ける場、楽しみのある場、住民のシンボルとなり、住民が自慢できる会館は、地球温暖化防止、資源循環型社会を考慮し、神奈川の木や近場の材料を使う地産地消に努め、内部は、癒しを感じる木材を多く使用した会館とします。

建物概要

敷地面積	295.16㎡
建築面積	147.12㎡
延床面積	147.12㎡
建ぺい率	49.84% < 60%
容積率	49.84% < 200%

概算総工事 (消費税10%含)

・ 本体工事費	2,800万
・ 設備工事費	100万
・ 既存建物解体撤去費	200万
・ 外構工事費	110万
・ 設計・監理費	200万
合計	3,410万

